

令和7年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和8年3月31日

学校法人馬場学園 足立つばめ幼稚園

1. 本園の教育目標

生涯にわたる人間形成の基礎を培うことを使命と受け止め、心と体の健康な子どもの育成を目指す。

- ・えがおであいさつ 明るい子
- ・だれにも親切 やさしい子
- ・元気に遊ぶ じょうぶな子
- ・いつもすすんで 考える子
- ・最後までがんばり やりぬく子

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・子どもたちへの言葉がけの子どもの成長に与える影響について
- ・自然に触れ、園児が自ら活動に加わる

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	子どもたちへの言葉がけの子どもの成長に与える影響について	B	言葉がけは子どもの脳の発達、感情の安定、自己肯定感、社会性、言語能力などに大きな影響を与え長期的な成長を形づくりまします。肯定的で具体的な声掛けを意識するように努めていく。
2	自然に触れ、園児が自ら活動に加わる	A	食べられる草花、作物を育て、子どもに世話をしてもらい観察し、子どもたち自身の気づき、好奇心探求心を深めた。 (じゃがいも、すいか、菜の花、いちごなど)

評価 (A・・・十分に成果があった B・・・成果があった C・・・少し成果があった D・・・成果がなかった)

4. 総合的な評価結果

評価	理由
A	言葉がけは日々の積み重ねで子どもの「内なる声」をポジティブに変え、健やかな成長を支えます。先生方が少し意識を変えるだけで、子どもたちの笑顔や自信がぐんと増えるはず。自然に触れる取り組みは、単なる「植物栽培」ではなく、子ども一人ひとりの「気づき」を起点にした保育である。結果として、幼児教育全体の目標である「豊かな感性」「健やかな心身」「主体的な学び」を日常の園庭活動の中で自然に達成できる素晴らしいアプローチです。

評価 (A・・・十分に成果があった B・・・成果があった C・・・少し成果があった D・・・成果がなかった)

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	環境・安全管理	安全にのびのびと子どもたちが遊べるよう、園庭や室内の環境について話し合い改善を図る。 職員間の安全管理の意識向上と共通理解を深める。

6. 学校関係者評価委員会の評価

肯定的な言葉が積み重なると、子どもは「自分は価値がある」「頑張ればできる」と感じやすくなります。

先生が言葉がけを意識することで、子どもの行動や心の育ちがポジティブに変わっていくので取り組みについて評価したい。

自然に触れ、園児が自ら加わる行動は「豊かな感性」「健やかな心身」「主体的な学び」を日常の園庭活動の中で自然に達成できる素晴らしいアプローチだと思う。

学校評価委員会

園長 馬場悦子

主任 岩下美樹・壹岐真由美
田村順子・門脇彩奈

学校関係者評価委員会

倉持和男（卒園児保護者）

和氣加奈子（令和元年度母の会会長）